

BPA、「ナゾの研究」と報道

- 朝日新聞11月29日2002年朝刊
- 広島市で行われた「内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」で、環境省研究班の平原史樹・横浜市立大学教授と黒木良和・神奈川県立こども医療センター所長が28日に発表した。
- 正常児を生んだ815人の妊娠中から出産までの血液と、尿道下裂男児を出産した30人の血液を比較した。その結果、ビスAの濃度は、正常児の母親で0.4ng/mlであったが、尿道下裂児の母親の平均値は、その2倍であった。

